週間漁海況情報 2022年第45号

令和4年11月8日発行

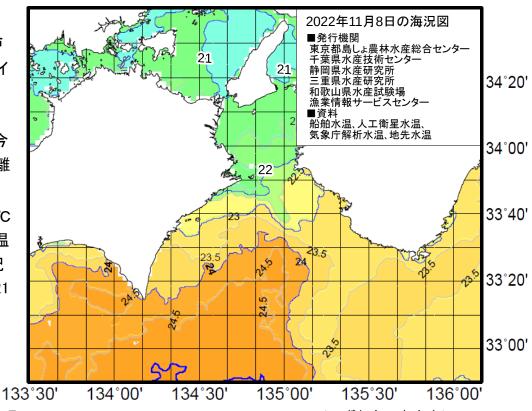
海況

徳島県立農林水産総合技術支援センター 水産研究課海洋生産技術担当

1. 周辺海域の水温等

紀伊水道沖の黒潮は、室戸岬沖76マイル、潮岬沖129マイルを流れ、いずれも「著しく離岸」。黒潮からの紀伊水道外海域への暖水波及は弱い。今後、黒潮は室戸岬で、さらに離岸すると予測されている。

黒潮の表面水温は24~25℃ 台。徳島周辺海域の表面水温 は、播磨灘が20~21℃台、紀 伊水道21℃台、海部沿岸が21 ~23℃台となっている。全体 的に水温は低下している。



※黒潮の離接岸の表現

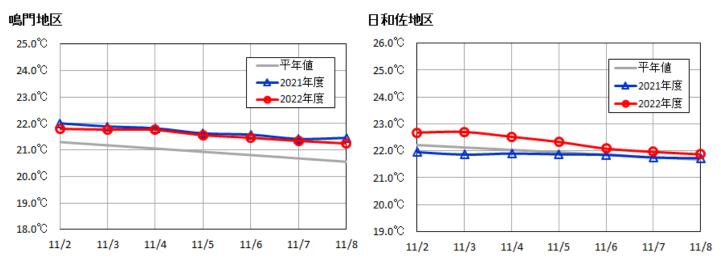
(いずれも正南方向)

室戸岬沖 接岸:~25NM やや離岸:25~45NM 離岸:45~65NM 著しく離岸:65NM~ 潮岬沖 接岸:~26NM やや離岸:26~56NM 離岸:56~86NM 著しく離岸:86NM~ ※図中の破線は黒潮の北縁を示しています。

直近4日分の海況図を水産研究課HPに掲載しています。

2. 地先水温(11月2日~11月8日)

鳴門地区の水温は21.2~21.8℃で「やや高め」、日和佐地区は21.8~22.7℃で「平年並み」に推移した。鳴門と日和佐地区の水温差は0.6~0.9℃で、先週と比べて拡がった。



※水温の高低 平年並み: 平年値±0.5℃未満, やや高め/やや低め: 平年値±0.5℃以上1.5℃未満 高め/低め: 平年値±1.5℃以上2.5℃未満, かなり高め/かなり低め: ±2.5℃ 以上 ※ 平 年 値 1984年~2018年の平滑平均値

3. 週間予報(11月9日~11月15日)

黒潮は、室戸岬、潮岬沖とも「著しく離岸」する見込み。

地先水温は、鳴門地区は「やや高め」、日和佐地区は「平年並み」で推移する見込み。

漁況 (10月31日~11月6日)

1. 紀伊水道(標本漁協:5)

船びき網では、シラスが増えて21.9~水揚げされた。

延縄では、サワラが増えて0.9~水揚げされた。

建網では、カワハギが大主体に0.6~、メジナが減って0.2~、タカノハダイが0.2~水揚げされ

た。 小型定置網では、カンパチが増えて2.4½、ブリが大きく増えてめじろ級主体に0.8½、マアジが減って特大主体に0.6½、クロサバフグが大きく増えて0.3½水揚げされた。 底びき網では、えそ類が大きく増えて2.5½、クマエビが大きく増えて2½、ハモが増えて中主体に1.6½、いとより類が大きく増えて1.2½、かます類が大きく増えて0.9½、コウイカが大きく増 えて小主体に0.5~、モンゴウイカが増えて0.3~水揚げされた。

2. 海部沿岸(標本漁協:4)

至: 7年777777 (18777200): 47 釣りでは、タチウオが大きく増えて1.5½、シイラが大きく増えて0.3½、アオリイカが大きく増えて0.3½、キハダが大きく減って0.3½水揚げされた。 延縄では、キダイが大きく増えて0.4½水揚げされた。

小型定置網では、マルアジが小小主体に1.75、マアジが大きく増えて豆あじ主体に0.45水揚げ された。

漁獲量集計表 (漁獲量が0.2トン以上のものを抜粋)

海区	漁業種類	出漁隻数(のべ)	魚種	漁獲量	1日1隻あた り(kg)	銘柄	前週比**
紀伊水道	船びき網	73	シラス	21,900	300		7
	延縄	29	サワラ	886	31		7
	建網	127	カワハギ	551	4	大主体	\rightarrow
		78	メジナ	225	3		\nearrow
		82	タカノハダイ	222	3		\rightarrow
	小型定置網	19	カンパチ	2,422	127		7
		19	ブリ	827	44	めじろ級主体	77
		18	マアジ	595	33	特大主体	7
		4	クロサバフグ	273	68		11
	底びき網	48	えそ類	2,481	52		77
		50	クマエビ	1,995	40		11
		51	ハモ	1,556	31	中主体	7
		50	いとより類	1,197	24		11
		48	かます類	925	19		11
		49	コウイカ	503	10	小主体	11
		49	モンゴウイカ	339	7		7
海部沿岸	釣り	19	タチウオ	1,538	81		11
		8	シイラ	295	37		11
		55	アオリイカ	294	5		11
		7	キハダ	278	40		77
	延縄	13	キダイ	356	27		77
	小型定置網	4	マルアジ	1,678	419	小小主体	\rightarrow
		6	マアジ	384	64	小小主体	77